

1年「どきどき どっきんぐ」

状況によって鼓動の速さが変わることを不思議だと感じている女の子の様子から、生きていることの喜び、生きていることの素晴らしさを考える授業を行いました。状況によって鼓動が変わる不思議を、自分の生活経験と結び付けながら考えていました。命があるからこそ、その鼓動の違いを感じることができると学び、その命を大切にしていきたいと考えることができました。



2年 「ゆきひょうのライナ」

「ゆきひょうのライナ」を題材に、「生きるために食べる」ということを考える授業を行いました。食べなければ生きていけない状況で、食べるか食べないかを選び、理由を考え交流しました。子供たちは、「自分の命を守るためにも食べないといけない。」「食べるものにも命があるから感謝して食べたい。」「命はつながっているから大切にしたい。」等、食べることは命をいただくことであることに気付きました。また、食べ物へ感謝する気持ちをもつことができました。



3年 「おじいちゃん、おばあちゃん、見ていてね」

「おじいちゃん、おばあちゃん、見ていてね」を題材に、命の大切さについて考える授業を行いました。東日本大震災によって、大切な祖父母を失った主人公が深い悲しみの中で、前向きに一生懸命生きようとする姿から、与えられた自分の命を精一杯輝かせて生きようとする大切さを学習しました。子供たちは、「人生を大切に精一杯生きたい。」「1日1日を元気に過ごしたい。」「人に優しくしたい。」「人を助けたい。」等、前向きに一生懸命生きようとする大切さを感じていました。



4年 「走れ江ノ電 光の中へ」

「走れ江ノ電 光の中へ」を題材に、命の尊さについて考える授業を行いました。余命の短いとも君の夢を叶えようと努力するみんなの姿から、自分の命は自分一人のものではなく多くの人々の支えによって守り、育まれている尊いものであることを学習しました。子供たちは、「みんなの思いを受け継いだ自分の命を大切にしていきたい。」「みんなが自分を大切に思ってくれているから、毎日を大事に過ごしていきたい。」等、命の尊さを感じていました。



5年 「コースチャぼうやを救え」

「コースチャぼうやを救え」を題材に、命の大切さについて考える授業を行いました。大やけどを負ったコースチャぼうやを救おうする姿から、人の命の大切さを学習しました。子供たちは、「命はみんなで協力して守っていきたい。」「命を守るためには周りの人を大事にすることが大切だ。」等、命の尊さを感じていました。



6年 「命を見つめて」

13歳にして骨肉腫で亡くなった猿渡瞳さんの病気との闘いの記録，そして亡くなる2カ月前に参加した弁論大会の動画を通して，生命の尊さについて考える授業を行いました。重い病気と闘いながらも前向きに生きようとする瞳さんが，弁論大会を通して「伝えたいこと」について考えることで，生きていることの尊さや限られた命を精一杯生きることの大切さを学びました。この学習を通して，「生きていることが幸せ。命を大切にしたい。」「瞳さんのように，今を自分なりに一生懸命に生きていきたい。」と，子供たちが今後の自分の生き方について考えを深める様子が見られました。



たんぽぽ 「たのしいおと」

「NHK for school 新ざわざわ森のがんこちゃん」の番組動画を見て、「生命の大切さ」について考えました。

まず、「命とはどういうものだと思いますか？」と児童に問いかけると「一つしかない」「大切なもの」という答えが返ってきました。その後、動画を見て「生命の大切さ」について考えました。

自分の身の回りにたくさんの様々な音が存在していることを知り、「生きているからこそ、毎日いろいろな音を聞くことができる。」「いろんな音が聞こえてくるということは、自分が今生きているということ。」「生きていることは大変すばらしいこと。」などと生きることのすばらしさを知ることができました。

身近なところで「生きて

